

■新庁舎に導入する機能（案）

基本方針1 市民の安全・安心を支える庁舎

- 防災拠点機能の強化
- セキュリティ機能の充実

- ・耐震性と安全性に優れ非常時に行政機能が確保できる庁舎
- ・防災拠点としての機能が十分に発揮できる庁舎
- ・個人情報に対する情報の高度なセキュリティ機能を確保した庁舎

基本方針2 誰にでも親しまれる庁舎

- 窓口サービスの向上
- ユニバーサルデザイン

- ・誰にでもわかりやすく、利用しやすい窓口が充実した庁舎
- ・誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎
- ・ICTの活用など窓口サービスなどの利便性が向上した庁舎
- ・市民交流や活動を支えるためのスペースを備えた庁舎
- ・枚方市の魅力を来庁者や市内外へ発信できる庁舎
- ・適正台数の駐車場や駐輪場を確保した庁舎

基本方針3 まちづくりに寄与する庁舎

- 賑わいの創出
- 枚方市の象徴
- 周辺との調和

- ・周辺環境や景観に調和した、枚方市を象徴する庁舎
- ・枚方市駅周辺の回遊性を高め、賑わいの拠点となる庁舎
- ・新たなまちづくりの発展に寄与する庁舎

基本方針4 環境に優しい庁舎

- 環境負荷の軽減
- 緑化共生
- 公共交通の利用

- ・自然エネルギーの有効活用、省エネルギー設備の導入など環境負荷低減に資する庁舎
- ・施設や敷地内の緑化を設け地球環境に配慮した庁舎
- ・公共交通機関の利用により、CO2排出量の削減につなげる庁舎

基本方針5 社会環境の変化に対応できる効率的・経済的な庁舎

- 執務環境の充実
- 将来的な可変対応
- コスト縮減

- ・職員の効率かつ快適な執務環境を確保し、機能的で柔軟性を備えた庁舎
- ・将来の行政需要の変化に柔軟に対応可能な諸室配置とする庁舎
- ・将来の行政事務の動向や職員数を見据えた適正な規模の庁舎
- ・維持・管理コストの縮減や長寿命化につながる経済性と持続性の高い庁舎

新庁舎は、「5つの基本方針」を踏まえ、次のような機能の導入を目指します。

主要機能

機能1 窓口機能 ○総合窓口、窓口空間（手続き・相談）、待合スペース

市民の利用頻度が最も高い機能であるため、安全性、利便性に配慮した空間整備する。

機能2 執務機能 ○執務空間、ICT、会議室・書庫・倉庫、福利厚生室

効率的な行政事務が行える執務空間とし、将来の組織変更にも柔軟に対応できる整備を行う。

機能3 議会機能 ○議場、傍聴席、委員会室、議員控室、図書室等

傍聴など市民の市政参画を促し、意思決定を図る場にふさわしい空間整備を行う。

機能4 防災機能 ○災害対策本部、防災行政無線統制室、屋外広場

災害発生時において、速やかな対応と対策が取れる防災拠点としての整備を行う。

付加機能

機能5 交流機能 ○多目的スペース、市政情報コーナー、市民交流スペース

気軽に様々な情報が得られ、市民間の交流が生まれるような開放的な空間を整備する。

機能6 環境機能 ○自然エネルギー、省エネルギー設備、緑化

行政が先導する役割として、地球温暖化対策の取り組みや緑化整備を行う。

機能7 附帯機能 ○銀行ATM、コンビニエンスストア、飲食スペース ※

市民サービスや生活の利便性の向上につながる附帯施設を整備する。

※現時点の例示

共用機能

機能8 交通機能 ○駐車場（来庁者・公用車）、駐輪場

公共交通機関の利用促進とあわせ、適切な駐車場台数等を確保する。

機能9 共通機能 ○ユニバーサルデザイン、ロビー・トイレ、案内表示

全ての利用者が不便なく、快適に施設を利用できるような配慮を行う。

機能10 特有機能 ○シンボル性、回遊性、賑わい、景観

枚方市特有の良さを感じられるとともに、市民が誇れる拠点を形成する。